野崎 るみ

授業テーマ

アプリケーションソフトを使った総合的なコンピュータの利用

授業の概要と目標

- 1. 表計算ソフト Microsoft Excel による計算表・グラフ・データベースの習得
- 2. ワープロソフト Microsoft Word による文書作成の習熟
- 3. プレゼンテーションソフト PowerPoint による作品の作成と発表
- 4. デジタルカメラやスキャナの使用、写真の加工、画像処理

評価方法

Excel は試験を実施(35%)、Word は課題の提出(20%)、プレゼンテーションは作品の提出(30%)、出席率(15%)とします。 授業への取組み態度も加味して総合的に判断します。

テキスト	著者	出版社
30 時間でマスター WindowsXP 対応 Excel 2003	実教出版編修部	実教出版株式会社
情報演習③ PowerPoint ワークブック	相澤裕介	(株)カットシステム
参考書 30 時間でマスター WindowsXP 対応 Word 2002 (1 回生で使用のテキスト)	著者 宮詰正幸 他	出版社 実教出版株式会社

授業スケジュール・内容

1~10回目	表計算ソフト基本〜応用	データの入力・訂正・消去、計算式、再計算、罫線、 ブックの保存と呼出、行列操作、文字属性、データの表示形式、 基本関数、グラフの作成と編集、応用関数、セルの絶対参照、印刷、 データベース(並べ替え、抽出)、ふりがな、Excel 試験
11~15 回目	ワープロソフト応用	Excel データの埋め込み、作表、タブ、インデント、 段組文書、ドロップキャップ、画像の挿入、 袋とじ文書、ヘッダー・フッター、ページ番号、縮小印刷
16~17 回目	図形描画	図形描画機能、描画キャンバス、図表ギャラリー 図形入り案内状の作成
18~26 回目	プレゼンテーション	文字の書式設定、テンプレート、スライドのレイアウト、背景色、 背景画像、画像、表、グラフ、アニメーション、 デジタルカメラの使い方、無料素材の利用、スキャナの利用、 写真の加工、課題作品の作成、ノートの使い方、 情報の収集・整理・加工、資料の作成、作品の作成・発表・評価
27~30回目	Web 文書	Word 文書を Web ページ形式に変換、Word で Web 文書を作成、 Excel データを Web ページ形式に変換、Excel で Web 文書を作成

- ◎ 1回目の授業は必ず出席すること。ワープロソフト応用については、表計算ソフトと一部分同時進行になります。
- ◎ 本科目は、コンピュータ技術基礎Ⅱを受講していることを、前提にしています。